

まちづくり懇談会 からくわルーキーズサミット 出張！サミット@大谷 報告書

文責：本部事務局 岡崎真弓

—実施日時—

2013年6月30日(日) 17:00～

—実施場所—

大谷公民館 和室

—主催—

気仙沼市

からくわ丸-Karakuwa Designers League

—参加者—

梶原政芳(からくわ丸)、金野諒(からくわ丸)、
青島寿宗(SVA)、伊藤孝充(SVA)、武田祐樹(SVA)、西倉優理(SVA)、加藤拓馬、岡崎真弓
…計8名 敬称略



**KARAKUWA
ROKIES
SUMMIT**
—からくわルーキーズサミット—

—実施内容—

「この夏にやりたいまちを盛り上げる企画を考えよう！」という企画提案会。本吉は大谷に出張し、シャンティ国際ボランティア会の方々と企画を練る。

—実施記録—

●この夏やりたいこと(自己紹介も兼ねて)

武田祐樹(SVA):ハングラライダー。

梶原政芳(からくわ丸):子どもと一緒に山に行つて虫を取りたい。

金野諒(からくわ丸):カメラの練習をしたい。いろいろなものを撮りたい。

岡崎真弓(地域支援員):たづぼんこ(飛び込み)、中学生とまち歩き。

西倉優理(SVA):花火がしたい。

加藤拓馬(地域支援員):海に克つ！

青島寿宗(SVA):素潜りをして岩の間の魚とかをみるのが好き。(=海のぞき)

伊藤孝充(SVA):地引網をしたい。海に克つ。

●地域を盛り上げるための企画提案

上記のような、この夏にやりたことをどうやって地域住民を巻き込み、地域の活性につなげるかを検討した。

◇ 「たづぼんこ」選手権

- ・まず、シャンティの方々が興味津々だった「たづぼんこ」。
- ・「たづぼんこ」ってなに？
- ・たづぼんことは：防波堤などの高いところから海に飛び込むこと。唐桑でしか通じない表現。干潮時に飛び込むとより海面までの距離が高くなる。
- ・これは面白そう！ やってみたい！ という声があがったが、唐桑町民からは結構危険で、大なり小なりケガをするという声も。子どもたちと遊ぶのは難しそう。同意書などが必要になる。
- ・たづぼんこは釣りのオプションとしてやっていた、と唐桑町民。
- ・たづぼんこは大勢で大々的にするのではなく、少人数でその時のノリと勢いでやる肝試しのような遊び。



◇ 釣り大会

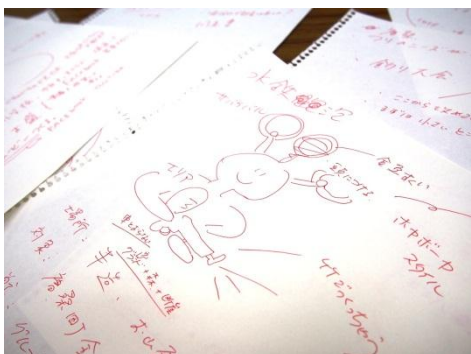
- ・それならば、やっぱり釣りでしょ！ ということで、釣り大会へ話に移った。
- ・唐桑は釣りのニーズがある。中井小学校の子どもがやりたいと言っている。
- ・大谷では今年の夏に子どもたちとやる予定。地元の年配の方と竹で釣り竿づくりからやる。
- ・釣れなければ、みんなで工夫しながら進められそう。
- ・まずは少人数(やりたいと言っている子)からはじめて、だんだんと友達を呼んでもらい、最終的には中井キッズクラブなどと共同企画で釣り大会もしたい！

◇ 虫取り大会

- ・海もいいけど、山もいい！ 震災後カブトムシが大量発生している。
- ・虫取りは子どもも大人も夢中になれる。だから、親子大会にしたい！
- ・親子でコミュニケーションを取りながら、虫を取っていく！
- ・携帯ゲーム世代の子どもたちに自然を楽しんでもらういい機会になるし、大人も童心にかえってできると思う。
- ・「虫1匹1ポイント、スペシャル2ポイント」などとルールを決めて対決する。
- ・Yの字になった棒に蜘蛛の巣をひっかけて、それでも虫取りができるらしい！（教育長の話）
- ・それは面白い！！ それだと子どもたちはみんなやったことがないと思うので、フェアにできるかも。
- ・まずY字の木の枝と蜘蛛の巣を探るところから楽しめる。
- ・これは夏休みにぴったりの企画になりそう。



☆ 水鉄砲でサバイバルゲーム



- ・頭に2つの金魚すくいポイをつけて(左図)、それを水鉄砲で撃つという簡単なサバイバルゲームをやっていた愛知の事例があるらしい!
- ・水鉄砲? サバイバルゲーム? 面白そうなおもしろい! !
- ・金魚すくいポイを2つつけて、ホヤぼーやみたいにしたらどうだろうか? 名付けて「ホヤぼーやサバイバルゲーム」!

- ・これは気仙沼らしくなるし、チーム戦などにもいろいろ工夫できて面白そう。
 - ・水鉄砲も竹で作ったらいいんじゃない?
 - ・この企画は応用がききそうだし、楽しそうなので具体的なことも考えてみましょう。
- ということで、案を練った。

対象: 年齢は問わない。帰省した若者もターゲットにする。自然の中で遊ぶことで懐かしさもあるだろうし、故郷の魅力を少しでも感じてほしい。

時期: 必然的にお盆付近。

場所: 半造園地(メリット: 広い。松林があって隠れられる。車が通らない。)、御崎(遊歩道含む)、大島(島全土が対象)

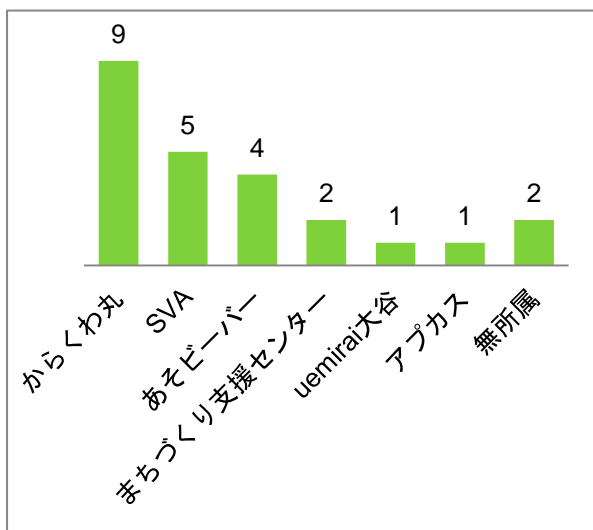
広報: 小学校にチラシ配布。Facebook にて。

PRムービーをつくって、Facebook や You Tube などで広報。

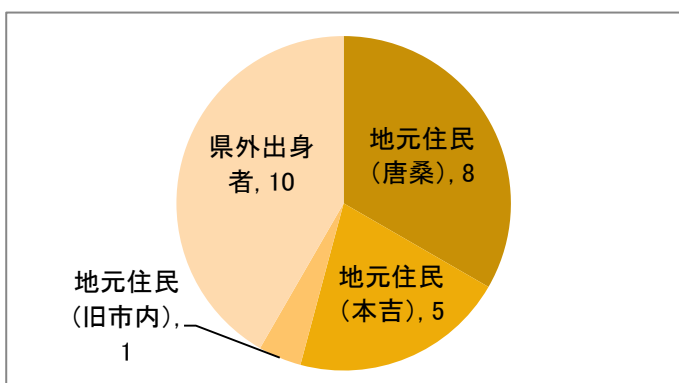
→まずは、プレゲームをやってみる。

● 懇親会

懇親会はサニーデイというカフェの屋外でBBQをした。参加者は24名。内訳は以下の通り。



▲ 所属別 (n=24)



▲ 地域別 (n=24)

—成果—

・少人数での開催について

少人数だったので、意見を出しやすい、しゃべりやすい雰囲気発言者が偏ることなく濃い話し合いができた。

・複数地域対象について

今回は唐桑と本吉から住民が集まった。複数地域の住民と企画することで、地元住民だけでは気づかない魅力や土地性に気づけ、それを活かすことができる。

・企画の仕方について

今までに多数のプロジェクトを企画してきたシャンティ国際ボランティア会の方々と一緒に企画すると、企画する手順や広報の仕方、注意点などのアドバイスをもらいながらできるので、スムーズに企画が進んだ。

—課題—

・広報が遅かった

広報するのが遅くなってしまい、Facebook を見て来たという人はいなかった。

・時間帯

今回は17時からの開会だったので、仕事がある人は参加できなかった。19時ごろからの開催が望ましいのでは。